

2021年12月28日

各 位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号  
会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス  
代表者名 代表取締役社長 岡田 淳  
(コード番号：7777)

問合せ先 取締役 新井 友行  
電話番号 03 (3511)3440

【訂正】「次世代止血材（TDM-623）の臨床試験フェーズ1の投与完了のお知らせ」  
の一部訂正について

2021年12月27日に発表しました適時開示資料につきまして、記載事項の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【訂正前】

なお、次世代止血材（TMD-623）の臨床試験は、以下の2つのフェーズで構成されています。

フェーズ1においては、単一施設で10名の患者を対象に安全性を確認し、その後、安全性データが検証され、フェーズ2への移行が決定されます。フェーズ2への移行は2021年3月完了を予定しており、今のところ製品に関連する有害事象は確認されておられません。

フェーズ2においては、6施設で80名の患者を対象とした有効性の検証が行われます。2022年11月の完了を予定しております。

■次世代止血材（TMD-623）について

既に上市済みの当社吸収性局所止血材「PuraStat」のペプチド配列とは異なり、当社が単独で特許を保有する新規ペプチド配列を用いた開発品です。現行の「PuraStat」と比べて、ペプチド原価が低く抑えられることや流通経路における冷蔵管理が必要無ことからコストの低減が見込まれます。

【訂正後】

なお、次世代止血材（TDM-623）の臨床試験は、以下の2つのフェーズで構成されています。

フェーズ1においては、単一施設で10名の患者を対象に安全性を確認し、その後、安全性データが検証され、フェーズ2への移行が決定されます。フェーズ2への移行は2022年3月完了を予定しており、今のところ製品に関連する有害事象は確認されておられません。

フェーズ2においては、6施設で80名の患者を対象とした有効性の検証が行われます。2022年11月の完了を予定しております。

■次世代止血材（TDM-623）について

既に上市済みの当社吸収性局所止血材「PuraStat」のペプチド配列とは異なり、当社が単独で特許

を保有する新規ペプチド配列を用いた開発品です。現行の「PuraStat」と比べて、ペプチド原価が低く抑えられることや流通経路における冷蔵管理が必要無ことからコストの低減が見込まれます。

以 上